

## 平成29年度研究課題一覧

## 三重県農業研究所

No.	研究課題名 (担当室 課名)	研究期間
基盤技術研究室 フード・循環研究課		
1	腎臓透析患者に対応した災害食等機能性食品の開発	H28～29年
2	医学的エビデンスのある骨粗鬆症対応商品「抗ロコモ緑茶」とその関連商品の開発	H27～29年
3	麦類・大豆の多収阻害要因の解明と改善指標の開発に基づく安定多収生産技術の確立	H27～31年
4	生産コストの削減に向けた効率的かつ効果的な施肥技術の開発	H27～31年
5	生産コストの削減に向けた有機質資材の活用技術の開発	H27～31年
6	生産コスト低減及び塩基溶脱の低減が可能な肥効調節型尿素の検討	H27～30年
7	亜臨界水処理有機液肥による地域内有機質資源循環農業システムの構築	H25～29年
8	土壌適正管理・調査事業(有機物連用試験・定点調査)	S51年～
9	農地土壌温室効果ガス排出量算定基礎調査(土壌炭素調査)	H26～32年
10	有害物質対策事業	H29年
11	コム中ヒ素低減のための栽培管理技術の確立	H29年
基盤技術研究室 農産物安全安心研究課		
12	生物・物理・化学の力を総合的に利用したトマト地上部病害虫の新防除体系の開発	H26～30年
13	麦類・大豆の多収阻害要因の解明と改善指標の開発に基づく安定多収生産技術の確立	H27～31年
14	AIを活用した病害虫診断技術の開発	H29～33年
15	AIを活用した土壌病害診断技術の開発	H29～33年
16	人工知能活用病害発生予察による効率的防除システム開発	H29～33年
17	食の安全・安心確保対策病害虫防除推進事業	H29年
18	新農薬の実用化に関する研究	H29年
生産技術研究室 地域連携研究課		
19	農作物被害を軽減するための包括的な獣害対策技術・手法の確立	H28～H31年
20	ICTによる農林が連動した獣害対策技術体系の確立	H28～H30年
21	野生鳥獣被害拡大への対応技術の開発	H28～H32年
22	農業と福祉の新たな連携創出事業	H28～H31年
23	新たな農業の担い手発掘事業	H29年～
24	既存の機械を活用したごまの機械収穫・調整作業の機械化	H29～H31年
25	みえの産直施設機能強化事業	H29年
26	次世代の果樹栽培法「根圏制御栽培法」導入実践による産地活性化	H28～H30年
27	亜熱帯果樹における国産化可能性の分析と栽培技術の開発	H28～H30年
28	果樹産地の振興のための省力化技術の開発及び新品種の有望性評価等	H29年
29	新農薬の実用化に関する研究	H29年

No.	研究課題名 (担当室 課名)	研究期間
生産技術研究室 農産研究課		
30	高温障害に強く各種病害に抵抗性を有する高品質・多収の中晩生水稲品種の開発	H27～29年
31	硬質小麦タマイズミの縞萎縮病と穂発芽抵抗性を強化した「スーパータマイズミ」の開発	H26～29年
32	イネのDNAマーカー選抜育種支援システムの構築(いもち病に強い三重23号作出)	H25～29年
33	実需者等のニーズに応じた加工適正と広域適応性を持つ大豆品種等の開発	H26～30年
34	麦類・大豆の多収阻害要因の解明と改善指標の開発に基づく安定多収生産技術の確立	H27～31年
35	台風常襲地帯における安定多収栽培技術の確立と現地実証(稲WCS)	H27～31年
36	高速汎用播種機の播種試験	H27～31年
37	原種及び奨励品種決定調査事業 優良品種の選定	～H29年～
38	新農薬の実用化に関する研究	H29年
39	既存の機械を活用したゴマの収穫・乾燥・調製作業の機械化	H29～H31年
生産技術研究室 野菜園芸研究課		
40	SIPトマトのオミクス利用による新世代栽培技術開発	H26～30年
41	施設園芸の新しい匠を支援するシステムの開発	H29年
42	植物工場パイロット事業	H29年
43	種子繁殖型イチゴ「よつぼし」の全国展開に向けた省力栽培体系とICTネットワーク	H28～30年
44	三重オリジナルの高品質種子繁殖型品種の開発	H27～29年
45	三重なばな新系統の安定生産技術の開発	H28～30年
茶業・花植木研究室 茶業研究課		
46	手軽に楽しめる「かぶせ茶」を用いたEasy抹茶加工法の開発	H27～H29年
47	茶新品種の導入に意欲的な生産者を支援するための挿し木技術の確立	H28～H30年
48	茶育成系統評価試験	～H29年～
49	実需者の求める色・香味・機能性成分に優れた茶品種とその栽培・加工技術の開発	H26～H30年
50	被覆茶需要に応える簡易な樹体診断法と効率的被覆作業による高品位安定生産体系の確立	H27～H29年
51	医学的エビデンスのある骨粗鬆症対応商品「抗ロコモ緑茶」とその関連商品の開発	H27～H29年
52	輸出相手国の基準に適した防除技術の開発	H27～H29年
53	新農薬の実用化に関する研究	H29年
茶業・花植木研究室 花植木研究課		
54	薬用作物産地形成のための増殖法・栽培法の検討	H26～29年
55	薬用植物の国内生産の拡大に向けた技術の開発	H28～32年
56	花き花木ブランド作出のための資源探索と利用	H29年
57	新農薬の実用化に関する研究	H29年
伊賀農業研究室 伊賀農業研究課		

No.	研究課題名 (担当室 課名)	研究期間
58	原種及び奨励品種決定調査事業・優良品種の選定(水稲、麦、大豆)	H29年
59	高温障害に強く各種病害に抵抗性を有する高品質・多収の中晩生水稲品種の開発	H27～29年
60	温暖化の進行に伴い発生が助長するごま葉枯病に対する抵抗性品種・系統の開発	H27～31年
61	県内実需者が求める新しい大豆品種の適性試験	H24年～
62	実需者等のニーズに応じた加工適性と広域適応性を持つ大豆品種等の開発	H26～30年
63	台風常襲地帯における安定多収栽培技術の確立と現地実証	H27～31年
64	硬質小麦タマイズミの縞萎縮病と穂発芽抵抗性を強化した「スーパータマイズミ」の開発	H26～29年
65	飼料用稲麦雑草防除確立調査事業	H29年
66	高品質な硬質コムギの生産を可能とする省力施肥技術の確立	H29～31年
67	伊賀米の高品質安定生産を支える栽培技術の確立	H29年
68	冬期など生育不適な低温条件で栽培可能なイネの開発	H29年
69	国産ドライブドウの付加価値向上法と省力栽培技術の確立	H29年
70	新農薬の実用化に関する研究	H29年
紀南果樹研究室 紀南果樹研究課		
71	クリプトキサンチンの供給源となる国産カンキツの周年供給技術体系の実証	H28～30年
72	アボカド、パッションフルーツなど亜熱帯果樹における国産化可能性の分析と栽培技術の開発	H28～30年
73	三重県産ウンシュウミカンの機能性表示支援	H29年
74	みえブランドカンキツ品種等の産地強化支援技術の開発	H29年
75	カンキツ系統適応性検定試験	H29年
76	新農薬の実用化に関する研究	H29年